



アクリル水槽製作
株式会社 コバックス関西

〒710-0027
岡山県倉敷市西田 794
TEL 086-483-1181 / FAX 086-483-1180
URL <http://www.kobax-kansai.com/>

Company data

取締役
石原 昌典

岡山県出身。大学を卒業後、証券会社に就職。在職中の1996年、父親が様々な関係者からの支援によりコバックス関西を興すも、当時は後継ぎはなかったという。しかし結婚を機に家業に入り、以後、社長である父親をサポートしてきた。

Personal data



熱帯魚ファン、そして地球のために 低コストで便利な水槽やろ過材を

相原 熱帯魚のための水槽を作られているそうですね。お父様が興した御社に入る際、かなり勉強されたとか。

石原 はい。証券会社に勤務していた際に、自身がその分野でのスペシャリストでないと、自信を持って商品を勧められないということを強く感じました。そこで、現在の仕事をするうえで必要な知識を得るため様々な魚を飼育するように。投資額は、気付けば高級車1台分くらいになっていましたね(笑)。

相原 日々どんなことを考え業務に臨んでいるのですか。

石原 当社では、主にアクリルの水槽を製造していますが、根本的な構造というのは何十年も変わっていません。では、これから先も変わらなくていいのかというと少し違う。お客様のことを考えるな

ら、これまでになような、特に熱帯魚を飼いやすくするための水槽やろ過材を開発しなければなりません。

相原 熱帯魚の飼育って、確かにpHの調整とか難しい印象があります。

石原 それほど世話に手間とお金をかけることなく熱帯魚を長生きさせることのできる水槽やろ過材があれば、熱帯魚ファンをもっと増やせると思うんです。

相原 そんな便利なものが？

石原 当社ではたくさんの微生物を棲ませることのできる多孔質のアクリルろ過材を開発しました。実は、これはメーカーさんに制作を依頼したところ「できません」と断られたものなんです。それを自社で開発しようと試み、何度も失敗しました。しかし、社員のアイデアで完成に漕ぎ着けることができました。当社の社

員は現場では常に考え、日々色々な作り方を試し新たな発見があればすぐに提案してくれるんです。私は非常勤講師として岡山理科大学専門学校の教鞭を執っているのですが、当社の社員はほとんどがその卒業生なんですよ。

相原 そんなに考えている社員さんは他の会社さんには少ないと思いますよ。培ってきた信頼関係があるからできることだと思います。自慢の社員さんですね。

石原 ありがとうございます。これを使用すれば微生物が有害物質を除去してくれますから、水を頻繁に取り替える必要がなくなります。コケの発生も防ぐことができ、アクリルの水槽を透明な状態で長く保つことができるんです。

相原 水族館の大きな水槽に潜り、ガラスを掃除する作業を見たことがあります。その負担が減らせるわけですね。

石原 ええ。実際に水族館でも実証済みですし、これは水槽だけでなく、例えば海上での養殖や下水・汚水のろ過などにも転用できる技術。陸地でも緑化やひいては砂漠化の防止に応用できる可能性があります。多額の設備投資の必要もないので需要は高いと見込んでいます。これから先、地球環境を守るため、様々な分野に提案していきたいですね。



Guest Comment
相原 勇 (タレント)

構想は既にできあがっていたものの技術的な壁に当たり、開発が行き詰まっていたところ、局面を打開したのは社員のアイデアだったのだとか。そうした社員の多くは、石原取締役が教鞭を執る学校の卒業生。師弟の力が新たな製品を生み出したのです。